

壊れゆく“若者たち”

File.63 デジタル症候群 ~高齢者から搾取するしかない風潮

文 石井 通明 text by Michiaki Ishii

2019年度の「高齢社会白書」によると総人口に占める65歳以上人口の割合（高齢化率）は28・1%になったということが示されています。総人口（18年10月1日現在）1億2644万人で、3558万人が65歳以上という現状です。2065年には、高齢者1人を1・3人で支える時代が訪れると言われており、老後に必要な蓄えが絶対的に必要になります。「老後に2000万円必要だ」「いや3000万円だ」と連日ニュースを賑わせていますが、目を背けることのできない我々への警鐘と言えます。

高齢者人口が増えているだけに、お金を稼ぐためにターゲットとなるのも高齢者になります。伴って高齢者向けのサービスが次々に台頭してきています。思い出の品、懐かしの品、娯楽グッズ、健康グッズ。

そればかりか高齢者を狙ったような詐欺のような投資話も多く聞くようになりまし。株取引、不動産投資、太陽光投資とあの手の手で高齢者をターゲットにします。ターゲットにする理由は高齢者の「孤独感」に目を付けたからであり、その「孤独感」を利



Profile
東京都大田区生まれ。
英国ウエールズ大学MBA（経営管理修士）。
日本交渉学会会員。ハーバード流交渉学・消費者行動心理学・コンフリクトマネジメントを研究。日本コーンセンター協会情報調査委員。
（株）グッドクロス取締役COO
長年コーンセンター運営に携わり、人とのコミュニケーションについての研究を進めている。思いやりのコーンセンターを展開。
becall1031642012088
[http://www.beall.jp]

用して話を持ちかけることで、とても「攻略しやすい」ということが背景にあるようです。

また、詐欺サイトや詐欺アプリも横行しています。これが日本だけではなく、海外からの詐欺アクセスも含まれるので質が悪いです。フィッシングサイトというもので、自分の銀行口座の情報等を抜き取られてしまい、口座からお金を下ろされてしまうという事態が起きます。ここ1、2年の詐欺の手法は増々巧妙になっており、若い世代でも本物と間違えるものが含まれています。パソコンに不慣れた高齢者はまず見抜けないと思われるレベルです。

これは実は強い脅威です。なぜかというと、時代がスマホ化しているからです。「〇〇の予約はスマホから。銀行の手配はスマホから、お支払いはスマホでカンタン！」…。若者にとっては

カンタンなことも、高齢者にとってはカンタンではありません。不自由な環境を強いられるのに対し、利用端末は高難度なものに変化しています。操作を間違えて資産を失うことがあるのです。オレオレ詐欺のグループがタイで摘発されたのも脅威でした。現在、国を上げて、この高齢者の資産を日本のために使い、未来のための国作りに向けて、本当の意味で日本の未来は失われると感じます。

